

# PERSPIRATION



2014 年

茨城大学陸上競技部 部誌

9 号

## 目次

I . 2014 年度シーズンを振り返って . . . . .	1
II . 2014 年度活動報告 . . . . .	5
i ) 大会後記 . . . . .	6
関東インカレ / 千葉対校 / 関東甲信越 / 北関東五大学対校 / 国公立 24 大学対校 / 三浜駅伝 / 荒川駅伝 / 国公立 24 大学対校駅伝 / 勝田全国マラソン	
ii ) その他の主な競技会の結果 . . . . .	15
茨城県選手権 / 国民体育大会 ・ その他	
iii ) その他の活動 . . . . .	16
協力審判員 / 宇都宮大学 ・ 千葉大学 ・ 群馬大学 ・ 高崎経済大学合同合宿	
III . 2015 年度シーズンの抱負 . . . . .	17
IV . 2015 年度活動予定 . . . . .	20
V . 卒業 ・ 修了生より . . . . .	21
VI . OB/OG 近況報告 ・ 現役部員へのメッセージ . . . . .	26
VII . 記録集 . . . . .	33
茨城大学記録 ・ 男子 / 茨城大学記録 ・ 女子 / 2014 年度ランキング / 対校戦順位一覧	
VIII . 部員名簿 . . . . .	37
編集後記 ・ 連絡先 . . . . .	38

## I. 2014 年度シーズンを振り返って

### 主将反省

前主将 平沼清一

2014年トラックシーズンお疲れ様でした。私は前主将谷貝から主将を受け継ぎ、現主将菊池に引き継ぎました。今年は「Change」をテーマとして、前年度までの反省含め、根本となる伝統や個々人の核となる部分はそのままに、先生方をはじめ、チーム内外の刺激によって、競技力向上、ひいては人間的成長をはかるという考えを元に活動してきました。チームを作っていく上で自分自身にできること、というのを考えるにあたって、きっかけとなる出来事があります。大学1年の頃の話になります。何か事件というか、意見の食い違いのようなことが起きた事があり、その時の先輩から「1年生は自分が当事者になった時に何が出来るか考えておくことだね」とアドバイスをいただきました。そのころから、自分がチームのためにやれそうなことを少しずつ考えるようになりました。しかし、いざ当事者になってみると、目の前のことで手一杯となってしまう、チームを俯瞰することや、先を見通すことに盲目になってしまいました。終盤で気づいたことですが、当事者では気づきにくい改善点については、周りの人の意見を真摯に聞き入れることが大切な気がします。実際のチーム作りについても、チームの中での意見の相違があったとき、全員の納得する方法などもなく、迷う場面が何度もありました。そんな中でもチームの中で、他の選手に興味を持って接することを通して、少しずつチームの関係が強くなってきたように感じます。自己ベストを出したチームメイトを心から喜ぶ姿に、チームとしての一体感を感じたのはきっと私だけではないはずです。

先輩方、後輩のみなさん、そして同期のみなさんには多大なるご迷惑おかけしました。およそ主将になるまでは気づかなかった幾つものこと、ご迷惑おかけしてばかりでしたが、それらはきっと失敗して気づくものだと思います。失敗は成功の母、待ち受けていることを把握していれば、少しずつ物事の本質が見えてくるように感じます。抽象的なことばかりで、伝えるのは難しいですが、先輩方が積み重ねてきたものの片鱗に、少しでも寄与し、現主将の菊池を中心に、次の世代へとつなげていきたいです。

### 主務反省

前主務 加藤佑実

昨年の北関東五大学で前主務の安田から仕事を引き継ぎ、あっという間に一年間が終わってしまいました。今年度は茨城大学として主催大会がない、特異的な年でした。大会運営がない分、チームに目を向けた運営をしていこうとスタッフで決め、昨年取り入れた握手の継続、また総会での1分間スピーチなど、新しいことを取り入れたりもしました。ブロックを越えて相手を知るといった雰囲気が、一年を通して部活全体にできてきたように感じます。しかしながら、そういった政策に目を向け過ぎて、スタッフ・主務としての本来の仕事を忘れることがありました。自分がスタッフの要となって指示を出すことができなかったこと、自分自身で気づき、行動することができなかったことが主務としての大きな反省点です。

主務を長谷川・鈴木に引き継いだ今、自分の一年間の反省を無駄にすることなく、二人に伝えつつ、個人の競技力向上にも励んでいきたいと思っています。

## 短距離ブロックの反省

短距離ブロック長 宮本秀斗

今年度短距離ブロックは新たに一年次5人を迎え、21人で活動してきました。シーズンインである4月に急遽ブロック長が変わったということもあり、今年度の短距離のシーズンの目標は「リレーで日本インカレ出場」というものはあったものの、具体性に欠けていて、どこを目指しているのかなど、土台をしっかりとすることができませんでした。だから達成できたかどうかの評価もし難いものとなってしまいました。そこがまず短距離としての1番の反省です。競技結果としては、PBを出すことができた人が多かったというのが、印象的でした。個人個人がレベルアップしているというのは、短距離全体の勢いにもなりました。しかし、関東インカレへの出場、各対校戦への入賞は今一步でした。

反省としては、昨年までもそうでしたが、故障者が多いということがなかなか改善できませんでした。特に今シーズンでは怪我の期間が長い人を多く出してしまいました。私もその1人になってしまい、作った練習メニューを自分で評価できなかったのも良くない点でした。これからは違和感の段階で、ブロック員全員で把握できるようにし、別メニューをやるにしても何をするか、特にブロック長が必ず把握している体制を確立して故障の発生を防止していきたいです。今年度の目標は「CHANGE」ということでしたが、私は自分がメニューをできないということもあり、去年と似たような感じでいいかなという感覚もありながらメニューを組むことが多々ありました。この姿勢は改善しなければなりません。これからは常により良くするにはどうしたら良いかを考えて、新しいことに挑戦することを恐れず取り組んでいきたいです。

来年度も引き続き私がブロック長となるので、今年度学んだことを活かしていきたいです。短距離としてはまだまだ「ただきつい練習」をしているという感覚があるので、その意識を全員で改善して練習に取り組まなければなりません。

来シーズンは「男子4継全カレ出場」「女子マイル全カレ出場」を大きな目標として、茨城大学といったら短距離という印象を他大学に知らしめるような強いブロックになるべく精進していきます。また、私事ですが、来シーズンは試合にでて点数とってくるブロック長になります。

## 中長距離ブロックの反省

前中長距離ブロック長 奥山康太

2014年、中長距離ブロック長を務めさせていただいた奥山康太です。今シーズンは4月に今野、小野、樋口、廣瀬、増田の5名の新入生を迎え、4年次1名、3年次2名、2年次12名、1年次5名と、例年以上に若いチームで活動してきました。関甲信、24大などの比較的大きな大会で好成績を収める選手も出てきたり、自己ベスト更新者が多数出たりと、ブロック全体として飛躍の一年になったのではないかと思います。また、待望の関東インカレ標準突破者も出ました。

反省点としては、例年と同じになってしまいますが、怪我人が多かったということが挙げられます。特に新入生2名の怪我はシーズンを通しての怪我となってしまい、配慮が足りなかったです。実力のある選手だからこそもっと長期的な視点からアプローチして練習に取り組ませるべきでした。また、一部、練習を無断で欠席したりなどということがあり、ブロック内でのコミュニケーションが不足しがちであった点に関しては、優先的に改善すべき問題ではないかと思います。

来シーズンは今シーズン以上に飛躍の一年にできればと思います。

## 跳躍ブロックの反省

## 前跳躍ブロック長 山内裕香

今年度の跳躍ブロックは4月に大塚、後藤が加わり、総勢10名で活動してきました。昨年度まで得点源、ムードメーカーであった遠藤、山口が卒業し今年度はブロック全体の競技力向上が求められました。競技結果を振り返ると、関東インカレで山内が5位、沖崎が走幅跳、100m、大塚が七種競技で関東インカレの標準を突破、山内が日本インカレの標準を突破し、昨年度に比べると大きな大会での活躍は少なくなりました。自己ベストが半数出たものの個人個人で伸びに差があり、しっかり練習はこなしているものの結果に表れず、力を発揮できたという人は少なかったと思います。

今シーズン全体を振り返ると、上のレベルにいた先輩方がいなくなったことにより、ブロック全体のレベルが下がり、周りとは比べるよりも自分の中の小さな世界で競技しているように感じました。自己ベストタイ記録で跳べれば確実に得点が取れるところも取りこぼすなど試合では周りとの実力の差を痛感してばかりだったように思います。

ブロック長としてブロックを盛り上げるために、試合ごとに目標をたてブロック員同士での共通理解を増やすことによって、個人とブロックの目標を明確にし、試合に臨むことができました。また、跳躍ブロックは男子が日立、女子が水戸に分かれていることが多いので土曜日の集まれるときは交流を大事にしてきました。ブロック長を2年間やらせて頂いて多くのことを学びました。まとめること、伝えることの難しさや、うまくいかないことが多くブロック員の皆さんには沢山迷惑をかけて、支えてもらいました。ブロック長も宮本蘭子に引き継ぎ、これから新たな跳躍ブロックとして活動していきます。今まで自分が学んだことを伝え、サポートし、また新たな気持ちで精進します。

## 投擲ブロックの反省

### 前投擲ブロック長 荒井啓輔

伝説の投擲ブロック長、星野千恵からブロック長を引き継ぎ早2年が経ちました。星野のような立派なブロック長になれたかは分かりませんが、僕もブロック長を引き継ぐ時期となりました。

今シーズンを振り返ってみると投擲ブロックは新しく迎えた1年次2人の活躍が大きく光ったシーズンだったと思います。この2人は自己ベストを更新、またはそれに近い記録を出しシーズンを通して活躍してくれました。逆に上級生達は今シーズン、ケガに苦しみ、思うような結果を残すことができずに終わってしまいました。ケガには大きなケガ、小さなケガいろいろありますが、自分の疲労や体の状態を考えながら、最小限のケガでシーズンを乗り越えることは本当に難しいと実感させられました。

しかしその上級生達もアベレージを高め、しっかりと力をつけつつあります。来シーズンは1年次と上級生、さらに新しく入ってくるであろう新入生と投擲ブロックから陸上部を盛り上げていきたいと思っています。前ブロック長星野に頼りないブロック長と言われた私が言うのも恥ずかしい話ですが、新ブロック長である友常もどこか頼りないと言わざるを得ません。しかし私がしてもらったのと同様にブロック全体で友常を支えて行きますます良いブロックにしていきたいと思っています。

最後になりますが、投擲ブロックは人数が少なく、練習すら皆さんの力がないとすることができませんが、いろいろなところでそのご恩を返していけたらと思っています。

## マネージャーブロックの反省

前マネージャーブロック長 萩野谷安己帆

今シーズン、マネージャーブロックは、1年次1名、4年次1名の計2名で活動してきました。昨シーズンと比べると、半分の人数になり、上手くサポートできなかったことも多々あったと思います。反省点として、練習時に、選手の方と上手く連携が取れず、練習の効率性を落としてしまったことが挙げられます。練習のメニュー開始時間や準備等、確認不足が度々起こってしまいました。また、大会の際も、出場者全員のサポートができなかったり、今までマネージャーで行っていたことを、選手の方をお願いすることもありました。そのため、選手の方との連携が、例年になく大事なものとなっていたと感じています。しかし、選手の方に頼ってしまう面が多く、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。一方では、一緒に活動させていただけた感謝の気持ちもあります。

マネージャーブロック内の活動としては、4年次と1年次のコンビということで、お互いにいい影響を受けることができました。また、昨シーズンの反省を踏まえ、ブロック員同士で話し合う機会も多く設け、1人1人の負担を減らすよう、活動できたと考えています。そして、今をどう活動するかより、来シーズンに向けた行動をとるよう、常に考えられたと感じています。

今シーズンマネージャーブロックとしては、本当に最低限のことしか行えず、現状を維持することが精一杯になっていたように思います。しかし同時に、来シーズンのことを考えた活動もしてきました。したがって、今シーズン得てきたことは、次のブロック長である石堀が、良い形で繋げてくれると信じています。そして、更にマネージャーブロックがよいブロックになるように、活動してほしいと考えています。

## 日立ブロックの反省

前日立ブロック長 近藤颯二

今シーズンは日立ブロックのメンバーが対校戦で活躍している場面が多く見られたことをまずは喜びたいと思います。練習をまとまってやれることが少ないなか、各々が意思を強く持って頑張っていたことがこうした結果に繋がったと思います。

来シーズン新たに3人の活気のある新2年次が日立ブロックに加入します。偉大な先輩である栗原が引退され淋しい気持ちがありますが、日立ブロックが更に発展していける様、これからも努力を続けていきます。

今後の課題は、対校戦での活躍だけでなく水戸組と合流して練習できるときには率先して日立ブロックのメンバーが動くなどしていくことで、部内を盛り上げることだと思います。普段個人で練習しているからこそ、皆で練習できるときには周りに気を配れる場面があるはずで、そういったところでも日立ブロックが活躍していけるよう尽力をしていきます。

## II. 2014 年度活動報告

### 2014 年度活動報告

日程	大会名	場所
5/16～17, 24～25	第93 回関東学生陸上競技対校選手権大会 (関東インカレ)	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場(埼玉) 日産スタジアム(神奈川)
6/20～22	2014 日本学生陸上競技個人選手権大会	Shounan BMW スタジアム平塚 (神奈川)
7/4～6	第68 回茨城県陸上競技選手権大会	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
8/10	第49 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	千葉総合スポーツセンター陸上競技場 (千葉)
8/23～24	第63 回関東甲信越大学体育大会	松本広域運動公園陸上競技場 (長野)
8/29～31	第87 回関東陸上競技選手権大会	相模原ギオンスタジアム (神奈川)
9/14～15	第46 回関東理工系学生対校陸上競技大会	鴻巣市立陸上競技場(埼玉)
10/5	第65 回北関東五大学対校陸上競技大会	正田醤油スタジアム群馬 (群馬)
10/18～22	第69 回国民体育大会	長崎県立総合運動公園陸上競技場 (長崎)
10/24～26	第29 回国公立24 大学対校陸上競技大会	栃木県総合運動公園(栃木)
12/7	第69 回三浜駅伝競走大会	ひたちなか(那珂奏)
12/21	第15 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷(東京)
12/26～28	宇都宮・千葉・群馬・高崎経済大学合同冬合宿	阿字ヶ浦海岸
1/17	第12 回国公立24 大学対校駅伝大会	熊谷スポーツ文化公園内(埼玉)
1/25	第63 回勝田全国マラソン	ひたちなか
3/9～14	春期強化練習	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
3/15	第24 回楮川駅伝競走大会	楮川ダム(水戸)
3/28～29	関東学生春季オープン陸上競技会	江戸川区陸上競技場 (東京)



千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦

i) 大会後記

第93回関東学生陸上競技対校選手権大会

(2013/5/16~17、5/24~25 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場：埼玉、日産スタジアム：神奈川)

今年度の関東インカレは5月16~17日、5月24~25日に熊谷陸上競技場、横浜日産スタジアムで開催されました。晴天には恵まれましたが強風に見舞われ、苦戦した選手も多かったと思います。リレーチームを含め19名の選手が出場しましたが、出場選手が少なく入賞も少ない大会となりました。男子3部では修士1年次伊藤(太)が100mで優勝、200mで2位入賞、修士2年次青柳が棒高跳で2位入賞し、私たち後輩に頼もしい姿を見せてくれました。さらに、3年次山内が女子棒高跳で5位に入賞し、素晴らしい活躍でチームを牽引しました。今年は新たに2名の選手が出場し、1年生の活躍も見られました。今年度は関東インカレ出場を目指し、奮闘した選手が多く見られたことが印象的でした。来年度はより多くの選手がこの大会に出場し、大きな舞台で活躍することを切に願っています。(文責：酒井くるみ)

関東インカレ結果(出場者)

種目	記録	氏名	順位
男子 100m 決勝	10.92(-2.0)	伊藤 太一	1位
男子 200m 決勝	21.91(+2.4)	伊藤 太一	2位
男子 110mH 予選	15.34 (-1.2)	星 耕平	
	15.79 (-0.3)	本圖 理彦	
	16.05 (-1.0)	村山 靖真	
男子 110mH 準決勝	15.17 (-2.7)	星 耕平	
男子 4×100mR 予選	42.74	伊藤・安井・宮本・沖崎	
男子 4×400mR 予選	3.25.15	沖崎・伊藤・福田・小澤	
男子 棒高跳 決勝	4m30	青柳 達也	2位
	4m40	堀尾 佳希	11位
男子 やり投 決勝	55m78	近藤 颯二	16位
女子 400mH	1.04.45	酒井くるみ	
女子 4×100mR 予選	50.16	酒井・加藤・鈴木・山内	
女子 4×400mR 予選	4.08.75	鈴木・酒井・加藤・堅野	
女子 棒高跳 決勝	3m40	山内 裕香	5位
女子 やり投 決勝	40m52	古田 映布	17位



## 第49回千葉大学茨城大学対校陸上競技大会

(2014/8/10 千葉県総合スポーツセンター陸上競技場：千葉)

本大会は千葉大学主催で行われました。男女総合優勝を目指して挑むなか、上級生の活躍が大いに目立ちました。なかでも、男子4継、院2年次青柳が棒高跳、4年次酒井が400mHで大会記録を更新し、最高学年の強さとチーム力を発揮することができました。また新入生が、優勝者は少なくとも要所での活躍が見られこれからの対校戦に期待を持たせてくれた大会でもありました。目標であった男女総合優勝は成りませんでした、今後に期待と課題を残してくれた大会であったと考えております。

来年度は茨城大学主催の茨城開催となります。男女総合優勝を目標に励むとともに、運営においてもチーム一丸となって望む所存であります。また茨城陸協の方々、OB、OGの先輩方に協力をお願いさせていただきます。その際は是非ともご協力よろしくお願いたします。(文責：近藤頭二)

千葉対校結果(優勝者)

種目	記録	氏名
男子 100m	11.11(-1.7)	伊藤 太一
男子 200m	22.58(-3.3)	伊藤 太一
男子 110mH	16.22(-4.4)	本圖 理彦
男子 4×100mR	41.89	沖崎・伊藤(太)・伊藤(林)・安井
男子 走幅跳	6m76(+3.9)	沖崎 一也
男子 三段跳	13m72(+0.9)	沖崎 一也
男子 やり投	56m65	近藤 頭二
女子 1500m	4.56.27	高野 美幸
女子 100mH	16.02(-2.5)	酒井くるみ
女子 400mH	1.06.58	酒井くるみ
女子 走幅跳	5m45(+4.4)	後藤 晴菜
女子 やり投	43m33	古田 映布



## 第63回関東甲信越大学体育大会

(2014/8/23~24 松本平広域運動公園陸上競技場：長野)

第63回関東甲信越大学体育大会陸上競技は、長野県松本平広域公園で開催されました。この時期としては、気温も低く、天候に恵まれた大会となりました。結果としては、男子400mにおいて宮本秀斗の関東インカレB標準突破、男子ハンマー投において富岡泰資の関東インカレA標準突破を初めとし、2名の優勝者、13名の自己ベストという活躍でした。総合結果は、男子が7位、女子が5位と男女共に昨年より順位を落とすという結果となりました。来年は、男女共に今年以上の結果出せるよう、チーム一丸となって取り組んでいきたいです。(文責：高野美幸)

### 関甲信結果(入賞者)

種目	記録	氏名	順位
男子 200m	22.49(+1.2)	宮本 秀斗	4位
男子 400m	49.38	宮本 秀斗	6位
男子 3000mSC	9.26.04	小野 隼太	1位
男子 4×100mR	42.63	伊藤・安井・猿田・沖崎	5位
男子 4×400mR	3.26.80	沖崎・猿田・伊藤・谷貝	8位
男子 棒高跳	4m40	沖崎 一也	2位
	4m10	堀尾 佳希	4位
男子 円盤投	30m82	近藤 顕二	7位
男子 ハンマー投	40m66	富岡 泰資	3位
男子 やり投	57m33	近藤 顕二	5位
	53m52	中浦 凌馬	8位
女子 100m	12.42(+1.5)	加藤 佑実	4位
女子 200m	25.99(+1.1)	加藤 佑実	5位
女子 800m	2.26.61	堅野 里桜	8位
女子 1500m	4.48.09	高野 美幸	4位
	5.02.75	荒井 芽衣	7位
女子 5000m	17.57.31	高野 美幸	1位
	18.46.32	大貫 綾子	4位
女子 100mH	15.30(-0.2)	酒井くるみ	7位
女子 400mH	1.04.56	酒井くるみ	5位
女子 4×100mR	49.75	酒井・加藤・後藤・大塚	4位
女子 4×400mR	3.58.82	加藤・鈴木・後藤・酒井	5位
女子 走高跳	1m50	宮本 蘭子	5位
	1m45	永瀬麻梨凜	7位
女子 円盤投	30m57	古田 映布	8位
女子 やり投	39m32	古田 映布	4位
	38m97	大塚 美穂	5位
	36m70	友常 結衣	7位



小野 (表彰)

## 第 65 回北関東五大学対校陸上競技大会

(2014/10/5 正田醤油スタジアム群馬：群馬)

今年度の北関東五大学対校陸上競技大会は、高崎経済大学主催のもと、群馬県の正田醤油スタジアムで行われました。例年とは異なるスケジュールで、24 大学対校戦の前に開催されました。女子は去年に引き続き優勝、男子は去年より順位を1つ上げ2位という成績を収めることができました。強い先輩方が卒業し、他大学も力をつけてきている中でこうして結果を残すことができたのは、チームがひとつとなり、部員一人一人が自分のやるべき仕事をしっかりと果たすことができたからだと思います。しかし、私たちの目指すところは24 大学などのより大きな大会で「茨城大学」の存在感を示すことだと考えます。今年度の結果に甘んずることなく、チーム全体で成長していきたいです。(文責：加藤佑実)

五大学対校結果(優勝者)

種目	記録	氏名
男子 100m	11.16(-0.3)	伊藤林大郎
男子 200m	22.11(-0.8)	伊藤 太一
男子 110mH	15.39(-1.0)	星 耕平
男子 4×100mR	41.53	伊藤(林)・伊藤(太)・猿田・沖崎
男子 棒高跳	4m00	青柳 達也
女子 100m	12.49(-0.5)	加藤 佑実
女子 200m	26.04(-0.6)	加藤 佑実
女子 4×100mR	4.05.49	加藤・酒井・大塚・蛇名
女子棒高跳	3m20	山内 裕香
女子やり投	38m88	安田 萌

## 第 29 回国公立 24 大学対校陸上競技大会

(2014/10/24~26 栃木県総合運動公園陸上競技場：栃木)

今年度の第 29 回国公立 24 大学対校陸上競技大会は 10 月 24 日から 3 日間、宇都宮大学を主催校として栃木県総合運動公園陸上競技場で行われました。今年度から新たに金沢大学が増え、24 大学での対校戦となりました。結果は男子総合 10 位、女子総合 6 位でした。今年度は入賞者が 17 名、自己ベストが 5 名と昨年度は 4 年生以上の活躍が多かったことから、昨年度に比べると個人個人の成長がみられたように感じます。中でも男子 4×100m リレーの優勝はチーム全体に大きな勢いをもたらしてくれました。現状に満足せずに、女子は総合優勝、男子は総合 3 位という結果を残していたことを忘れず、更に上のレベルへ向かっていきたいです。(文責 山内裕香)

24 大学対校結果(入賞者)

種目	記録	氏名	順位
男子 100m	10.69(+0.2)	伊藤 太一	2 位
男子 110mH	14.88(+1.8)	星 耕平	4 位
男子 3000mSC	9.19.63	小野 隼太	4 位
男子 4×100mR	41.06	伊藤(林)・伊藤(太)・猿田・沖崎	1 位
男子 棒高跳	4m30	堀尾 佳希	4 位
	4m10	青柳 達也	7 位
男子 ハンマー投	40m89	富岡 泰資	5 位
男子 十種競技	5068 点	木村 大介	8 位
女子 100m	12.42(+0.4)	加藤 佑実	5 位
女子 200m	25.46 (+0.9)	加藤 佑実	4 位
女子 5000m	18.27.08	高野 美幸	5 位
女子 400mH	1.02.60	酒井くるみ	4 位
女子 4×100mR	49.38	酒井・加藤・大塚・蛭名	6 位
女子 4×400mR	4.01.88	酒井・加藤・後藤・堅野	7 位
女子 走高跳	1m45	宮本 蘭子	8 位
女子 棒高跳	3m50	山内 裕香	1 位
女子 円盤投	29m36	安田 萌	6 位
女子 ハンマー投	22m48	友常 結衣	5 位
	22m13	安田 萌	8 位
女子 やり投	43m64	古田 映布	2 位
女子 七種競技	4331 点	大塚 美穂	3 位



## 第 69 回三浜駅伝競走大会

(2014/12/7 ひたちなか)

12月7日に那珂湊港を発着点にして今年も三浜駅伝が開催され、茨城大学からは男子2チーム、女子1チームが出場しました。男子Aチームは昨年成し得なかった総合優勝を目指して戦い、2区で先頭に立ってからは順位をしっかりと守り抜き、総合1位でゴールすることができました。女子は一般の部で優勝、男子Bチームも一般の部で5位に入賞し、茨城大学の存在感を示すことができました。男子も女子も1・2年生が主体の若いチームなので、更にレベルアップを図り、来年、再来年も優勝して茨城大学の名を地域に知らしめたいです。(文責 菊池直人)

三浜駅伝男子結果(33.9km) 一般男子一部 1位

	1区(6.1km)	2区(7.5km)	3区(3.3km)	4区(6.8km)	5区(4.5km)	6区(5.7km)
氏名	樋口 卓哉	小野 隼太	菊池 直人	藤井 駿丞	平塚 悠太	山本 智晴
区間	18.55	23.08	10.14	21.19	14.51	17.46
順位	(区間1位)	(区間1位)	(区間2位)	(区間2位)	(区間1位)	(区間1位)
総合	18.55	42.03	52.17	1.13.36	1.28.27	1.46.13

一般男子二部 5位

	1区(6.1km)	2区(7.5km)	3区(3.3km)	4区(6.8km)	5区(4.5km)	6区(5.7km)
氏名	小澤晃太郎	柳町 直	奥山 康太	長谷川大輔	木村 大介	今野 泰吾
区間	19.38	26.17	10.43	23.06	16.31	19.52
順位	(区間7位)	(区間10位)	(区間2位)	(区間4位)	(区間8位)	(区間8位)
総合	19.38	45.55	56.38	1.19.44	1.36.15	1.56.07

三浜駅伝女子結果(20km) 一般女子 1位

	1区(6.2km)	2区(5.1km)	3区(3.7km)	4区(1.9km)	5区(3.1km)
氏名	高野 美幸	増田 梨沙	大貫 綾子	堅野 里桜	荒井 芽衣
区間	23.07	18.37	13.06	6.53	10.31
順位	(区間1位)	(区間1位)	(区間1位)	(区間1位)	(区間1位)
総合	23.07	41.44	54.50	1.01.43	1.12.14



中長距離集合写真

## 第 15 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会

(2014/12/21 荒川河川敷：東京)

今回で15回目を迎える荒川駅伝には、今年も茨城大学から男女ともに対校1チームが出場しました。男子のオーダーは1区から順に、小野、菊池、樋口、山本、平塚、藤井で、結果は合計タイムが2時間16分35秒で、総合8位でした。昨年に比べ、タイムも順位も大幅に上がり、順位に関しては1桁と、他大学にも茨城大学男子の存在感を示すことが出来たと思います。しかし、目標としていたタイム、順位には僅かに及ばず、収穫も反省も大きな大会となりました。女子は1区から、高野、堅野、増田、大貫、荒井のオーダーで臨みました。1区の高野がMVPの走りでチームに勢いをつけ、そこから先頭を譲ることなく、2時間9分38秒というタイムで、昨年に引き続き優勝することができました。しかし、今大会はメンバー全員が万全の状態だったわけではなく、本来の力を発揮できなかった者もいました。一人一人、課題が見つかった大会だったと思います。

(文責：荒井芽衣)

荒川駅伝男子結果 (42.195km) 総合順位 8 位

	1区 (10km)	2区 (3km)	3区 (8km)	4区 (8km)	5区 (5km)	6区 (8.195km)
氏名	小野 隼太	菊池 直人	樋口 卓哉	山本 智晴	平塚 悠太	藤井 駿丞
区間	31.33	9.34	25.52	26.30	16.12	26.54
順位	(区間6位)	(区間12位)	(区間8位)	(区間8位)	(区間6位)	(区間8位)
総合	31.33(6位)	41.07(6位)	1:06.59(7位)	1:33.29(8位)	1:49.41(7位)	2:16.35(8位)

荒川駅伝女子結果 (34km) 総合順位 1 位

	1区 (10km)	2区 (3km)	3区 (8km)	4区 (8km)	5区 (5km)
氏名	高野 美幸	堅野 里桜	増田 梨沙	大貫 綾子	荒井 芽衣
区間	38.02	11.36	30.39	29.57	19.24
順位	(区間1位)	(区間2位)	(区間1位)	(区間1位)	(区間1位)
総合	38.02(1位)	49.38(1位)	1:20.17(1位)	1:50.14(1位)	2:09.38(1位)



集合写真

## 第12回国公立24大学対校駅伝大会

(2015/1/17 熊谷スポーツ文化公園内：埼玉)

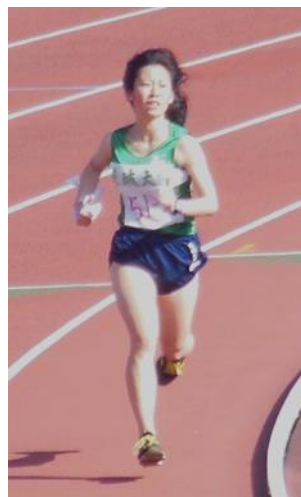
今年度の第12回国公立24大学対校駅伝大会は埼玉県熊谷市の熊谷スポーツ文化公園で開催されました。男子Iチーム、女子Iチームが対校の部に参加し、男子3名は千葉大学との連合チームでオープン部に参加しました。今大会は男子12位、女子2位を目標に大会に挑みました。男子14位、女子3位という結果でした。大会当日は例年にも増して風が強く吹いていたように感じられました。冬合宿を経て、体調不良者が出てしまったり、怪我人が出てしまったりと万全の状態とは言えない中でしたが、全部員の力強い応援が選手の力となり選手は持てる力を全て発揮できたと思います。男女とも、上位大学との差はとても大きなもので、力不足を感じさせられました。一年間の積み重ね、四年間の積み重ねが大切であると実感させられた大会となりました。まだまだ若いチームでありますので、来年に繋げ、走者も応援も楽しいと思える様な駅伝ができる、魅力あるチームになっていって欲しいと思います。(文責：大貫綾子)

24大学対校駅伝結果 (38.58Km) 総合順位14位

	1区 (9.72km)	2区 (3.14km)	3区 (7.69km)	4区 (5.17km)	5区 (5.17km)	6区 (7.69km)
氏名	樋口 卓哉	小澤晃太郎	藤井 駿丞	小野 隼太	山本 智晴	平塚 悠太
区間	33.38	10.21	25.33	16.44	17.26	26.01
順位	(区間19位)	(区間14位)	(区間10位)	(区間4位)	(区間12位)	(区間15位)
総合	33.38(19位)	43.59(18位)	1:09.32(17位)	1:26.16(15位)	1:43.42(14位)	2:09.43(14位)

24大学対校駅伝結果 (16.62Km) 総合順位3位

	1区(5.17km)	2区(3.14km)	3区(3.14km)	4区(5.17km)
氏名	高野 美幸	大貫 綾子	廣瀬 未来	増田 梨沙
区間	19.25	11.24	11.28	19.56
順位	(区間7位)	(区間4位)	(区間3位)	(区間3位)
総合	19.25(7位)	30.49(4位)	42.17(3位)	1:02.13(3位)



## 第63回勝田全国マラソン

(2015/01/25 ひたちなか)

1月25日に第63回勝田全国マラソンが開催されました。院2年次、4年次がフルマラソンに、長距離のメンバーが10kmに出場しました。また、OB・OGの先輩方が参加、応援に駆けつけてくださいました。

当日は天候に恵まれ、暖かな晴天の下スタートしました。地域の方々による沿道からの応援や、5kmごとに待っている仲間からの応援を受けてゴールを目指しました。途中ハプニングに見舞われる選手もいましたが、全員がベストを尽くし無事完走することができました。また、10km女子39歳以下の部では、2年次高野が7位、1年次増田が8位と健闘しました。地域の方々や仲間の温かさを改めて感じることでできた大会となりました。(文責:安田萌)

### 勝田全国マラソン結果

男子フルマラソン 39歳以下 (3769人中)					
氏名	記録	順位	氏名	記録	順位
本岡 理彦 (4)	05:08.44	2874	星 耕平 (4)	05:57.08	3698
栗原 航介 (M2)	05:57.07	3696	谷貝 脩平 (4)		完走
青柳 達也 (M2)	05:57.07	3697			
女子フルマラソン 39歳以下 (586人中)					
大貫 綾子 (4)	05:50.33	533			
酒井 くるみ (4)	05:53.51	556			
萩野谷 安己帆 (4)					
男子10Km 39歳以下 (1865人中)					
藤井 駿丞 (2)	33.00	24	菊池 直人(2)	34.33	43
平塚 悠太 (2)	33.07	25	長谷川 大輔(2)	35.07	50
樋口 卓哉 (1)	33.14	27	今野 泰吾(1)	35.23	53
山本 智晴 (2)	33.52	36	柳町 直(2)	38.56	83
女子10Km 39歳以下 (1163人中)					
高野 美幸 (2)	37.36	7	荒井 芽衣(2)	42.02	11
増田 梨沙(1)	39.06	8	安田 萌(4)	1:07.42	632



ii) その他の主な競技会の結果

茨城県選手権(2014) 8位入賞者

種目	記録	氏名	順位
男子 100m	10.79(+0.6)	伊藤 太一	3位
男子 4×100mR	41.60	伊藤(林)・安井・宮本・伊藤(太)	1位
男子 棒高跳	4m20	堀尾 佳希	7位
	4m20	沖崎 一也	8位
男子 走幅跳	6m92(+2.9)	沖崎 一也	4位
男子 三段跳	13m83 (-0.7)	沖崎 一也	5位
男子 十種競技	5080点	木村 大介	5位
女子 100m	12.47(+2.2)	加藤 佑実	3位
女子 200m	25.51 (+0.5)	加藤 佑実	3位
女子 400m	59.25	鈴木 杏奈	3位
女子 800m	2.26.89	堅野 里桜	8位
女子 4×100mR	49.84	酒井・加藤・鈴木・後藤	2位
女子 4×400mR	4.07.29	加藤・酒井・堅野・後藤	6位
女子 走高跳	1m50	宮本 蘭子	6位
女子 やり投	40m45	古田 映布	6位
	39m02	友常 結衣	8位

その他の競技会 (入賞者のみ記載)

大会名	日時	種目	記録	氏名	順位等
栃木県選手権	5/31, 6/1	女子 七種競技	4066点	大塚 美穂	3位
岩手県選手権	6/27	男子 3000msc	9.50.99	小野 隼太	5位
関東選手権	8/30, 31	女子 七種競技	4324点	大塚 美穂	5位

### iii) その他の活動

#### 協力審判員

私たち茨城大学陸上競技部は、競技者としてだけでなく、協力審判員としても陸上競技に関わっています。今年度も笠松スポーツフェスティバルや中学生の陸上記録会を中心に参加させていただきました。この活動では、普段と違う視点から陸上競技に携わることができるので、陸上競技についての理解を深めることができました。また、どのような形で大会が支えられているのかを知ることができる機会でもあります。今後もこの機会を大事にして活動していきたいと思えます。(文責：木村大介)

#### 主な審判員活動の内容

跳躍審判, 投擲審判, 監察員, 周回記録員, 風力計測員, 写真判定員, 記録員, 競技者係, 出発係, 光波計測員

2014年度審判補助員活動一覧

月日	大会名
5/3	中学記録会
5/18	笠松スポーツフェスティバル陸上記録会
6/7	中学記録会
6/14	中学記録会
6/15	笠松スポーツフェスティバル陸上記録会
6/28, 29	全日本中学通信陸上競技大会
7/4~6	第68回茨城県陸上競技選手権大会
7/12, 13	総合体育大会陸上競技大会
8/23, 24	第63回関東甲信越大学体育大会
9/15	中学新人記録会
9/28	笠松スポーツフェスティバル陸上記録会
10/19	笠松スポーツフェスティバル陸上記録会
10/24~26	第29回24大学対校陸上競技大会

#### 冬合同合宿

12月26日~28日にかけて、阿字ヶ浦クラブ・阿字ヶ浦海岸にて冬合宿が行われました。今年も茨城大学、宇都宮大学、千葉大学、群馬大学、高崎経済大学の5大学での合宿で、1日目~2日目にかけては県内の高校生も参加しての合同練習となりました。3日間ともに阿字ヶ浦の砂浜および周辺の道路を利用して練習を行い、最終日には全ブロック合同の砂浜でのエンドレスリレーを行いました。普段とは違った雰囲気の中で、互いが刺激し合いながら高いモチベーションで練習に取り組むことができた、非常に有意義な合宿でした。今回参加した大学とは来シーズンの対校戦でも顔を合わせるということで、情報交換を通じて交流を深められた点も良かったと思えます。この合宿を機に、普段から他大学を意識した練習ができれば尚良いと思えます。(文責：藤井駿丞)

### Ⅲ. 2015 年度シーズンの抱負

#### 主将抱負

主将 菊池直人

今年度の活動方針として私たちは「Do it!」を掲げました。これは競技力向上を通しての人的成長という、この部活の最大の目的を達成するために、各々が考えて課題や成すべきこと (it) を見つけ、実行に移せるように助け合ったり、刺激しあえるようなチームを作りたいという願いを込めています。アプローチの仕方は一人一人でも違っても、競技力向上を通しての人的成長という目的が一緒ならば、チームは一つの方向を向いて進んでいけると考えています。自分たちがどんなチームを作りたいのか、どんなチームであるべきかを常に考え、チームとしてレベルアップができるよう取り組んでいきます。

また、今年は千葉大学茨城大学陸上競技定期戦の主催校となっています。OB・OGの方々にはたくさんお世話になると思いますが、スムーズな運営ができるよう精一杯頑張ります。よろしくお願ひ申し上げます。

#### 主務抱負

主務 長谷川大輔

今年の主務を務めさせていただくことになりました。まずは主務としての仕事にミスなく取り組んでいけるようにしたいです。また、今年は主務が二人いますし、幹部の人数も多いです。幹部、部員、先生方としっかりとコミュニケーションをとって部を円滑に運営し、皆さんが競技に集中できるような環境にしたいです。

主務として幹部として個人的なキーワードは“勇気”です。何かを決めなければならない場面や、言いづらいこと事でも言わなければいけない場面などはあると思います。少し大げさですが私はこういったことが苦手なので、そのような場面で“勇気”を出して動けるようにしたいです。

至らぬ点も多くあると思いますが一年間よろしくお願ひします。

主務 鈴木杏奈

今年主務をやらせていただくことになりました。私は主務のような仕事を今までしたことがないので正直とても不安です。しかし、今年は主務が二人いるので、長谷川と連絡を密に取って抜けが無いように努めていきたいと思っています。また、チームの現状をしっかりと見ることができるようにしたいです。スタッフになると自分の目の前のことでいっぱいになってしまい、周りの状況が見えなくなってしまうということを経験したので、先輩から聞いたので、自分の仕事もしっかりとやりつつ、どんなチーム・部活にしていきたいかということを念頭に置いてやっていきたいと思っています。もちろん競技面でも手は抜きません。よろしくお願ひいたします。

#### 短距離ブロックの抱負

短距離ブロック長 宮本秀斗

今シーズンの短距離の目標は男子4継、女子マイルでのインカレ出場そして、関東インカレ出場者を増やすこと、これらをメインとしていきます。昨シーズンは日本インカレなし、関東インカレは個人は5人だけの出場者でした。今も標準をきっているのは、4人です。現段階では昨年より多いですが、ここから増やしていきます。また、各対校戦での入賞を増やすことにもつながると思います。これらを達成するために課題と目標を明確化すること、具体策を実践することを行っていきます。これらはトレーニングする上で基本的なことですが、しかし、その基本ができない人が自分を含めまだまだいるので、ブロックとして取り組んでいきたいです。

最後に私はブロック長としては、昨シーズンはブロック長というよりは怪我が続き短距離マネージャーのような存在だったのでしっかり練習、試合に参加し、競技でも引っ張っていけるようにします。

## 中長ブロック長の抱負

### 中長ブロック長 山本智晴

昨年は中長距離全体としてそれまでに比べ大きく力も増していき、関東インカレ選手も出すことができました。ですが、人数が多い割に他ブロックと比べ結果が残せていないというのが現状です。まだまだ若いチームで改善点も多くあり伸び代に期待できる選手ばかりなので、これから部全体の中で存在感を出し中心となり、試合などで他大学に存在を意識させていけるようにしていきたいです。また、競技面だけではなくしっかりと気持ちの面でのトレーニングも行っていき、速いだけでなく強い選手を育てていきたいと思います。先輩たちが築き上げてきた今の良い流れをしっかりと受け継ぐとともに、「競技=生活」この言葉を柱にしっかりと、このチームを自分色のチームに染め上げていき、今年の対校戦や駅伝で昨年以上の結果を残していきます。

## 跳躍ブロック長の抱負

### 跳躍ブロック長 宮本蘭子

跳躍ブロックの今年の目標は、昨年達成できなかった“関東インカレ全員出場”という目標を達成すること、また毎年シーズン半ばで停滞しがちになってしまうことが反省として挙げられているので、シーズンを通して飛躍できるような1年にすることです。跳躍ブロックは日立のメンバーも多いことに加え、ムードメーカー的存在であった先輩方が抜けてしまったため、普段は少人数での練習となってしまうのですが、ブロック全体を盛り上げ、高めあっているように努力します。また、今年で最後となる4年生が3人います。お世話になった先輩方が素晴らしい形でラストシーズンを締めくくることができるよう、全力でサポートします。

## 投擲ブロック長の抱負

### 投擲ブロック長 友常結衣

まず、来年度の投擲ブロックの第一目標は「全員で関東インカレ出場」だと私は考えています。もう既に標準を切っている人は、トップレベルで戦うことや上位に食い込むことを目標にしていきたいと思います。関東インカレはシーズン最初の対校戦であるため、そこを第一目標にすることでその後にある対校戦で十分に戦える力がつけられるのではないかと考えています。また、昨シーズンは「存在感がない」と言われることが多々あったように感じます。そのため関東インカレで勢いをつけてシーズンの初めから存在感を示していけるようにしたいと思います。

## マネージャーブロック長の抱負

マネージャーブロック長 石堀美柚

マネージャーブロックは、ひとつひとつの仕事に確かな目的をもって、効率的で円滑な運営を行っていききたいと思います。その中でも、しっかりと広い視野を持って、選手の方々と密にコミュニケーションをとっていきたいです。そこで気がついたことや考えたことを、積極的に自ら発信し、行動に移すことで、選手の方々のよりよい練習環境を作っていききたいと思います。競技面でのアドバイスはできませんが、マネージャーの目線から気づけることもあると思います。チームの良い所を尊重し、また、直すべき所もしっかりと察知することができる、マネージャーブロックでありたいと考えています。まだまだ至らない点が多くあるかと思いますが、よろしく願いいたします。

## 日立ブロック長の抱負

日立ブロック長 堀尾佳希

今年度で院2年次の栗原が卒業となります。とても寂しいです。ですが、中浦、樋口、空家を加え、ますます激しさを増す日立ブロックが同時に楽しみでもあります。

今年の日立ブロックの目標は関東インカレ3位以内入賞者、そして日本インカレ選手を出すことであり、もちろん今まで通りの練習や漠然とした練習態度では絶対に達成できない目標です。自分の競技と向き合い、自分に合った練習をするチャンスが毎日あるブロックなので、このことを各々が理解をし、弱い自分から脱する必要があります。

そのためには、練習に真剣に取り組むのはもちろんのこと、しっかり自分の競技について勉強することが大事になります。まとめると、僕はこの日立ブロックの人間全員が競技を好きになり、強くなることに努力を惜しまないようになってほしいと思っています。

#### IV. 2015 年度活動予定

##### 2015 年度活動予定

日程	大会名	場所
5/14～17	第94回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）	日産スタジアム（神奈川）
6/12～14	2015 日本学生陸上競技個人選手権大会	Shonan BMW スタジアム平塚（神奈川）
6/26～28	第99回日本陸上競技選手権大会	デンカビッグスワンスタジアム（新潟）
7/3～5	第70回茨城県陸上競技選手権大会	笠松運動公園陸上競技場（茨城）
8/9	第50回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	笠松運動公園陸上競技場（茨城）
8/18～19	第64回関東甲信越大学体育大会	筑波大学
8/24～26	第88回関東陸上競技選手権大会	笠松運動公園陸上競技場（茨城）
9/11～13	第84回日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）	長居陸上競技場（大阪）
9/20～21	第47回関東理工系学生対校陸上競技大会	さいたま市駒場運動公園競技場（埼玉） 鴻巣市立陸上競技場（埼玉）
9/21～23	第26回関東学生新人陸上競技選手権大会	未定
/	第66回北関東五大学対校陸上競技大会	栃木開催予定
10/17	第92回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会	昭和記念公園（東京）
10/2～10/6	第70回国民体育大会	紀三井寺公園陸上競技場（和歌山）
10/	第30回国公立24大学対校陸上競技大会	福島開催予定
12/6	第70回三浜駅伝競走大会	ひたちなか（那珂湊）
12/	第16回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷（東京）
12/	宇都宮・千葉・群馬・高崎経済大学合同合宿	未定
1/	第13回国公立24大学対校駅伝大会	未定
1/31	第64回勝田全国マラソン	ひたちなか
3/	春合宿	未定
3/	関東学生春季オープン陸上競技会	未定
3/	第25回楮川駅伝競走大会	楮川ダム（水戸）

## V. 卒業・修了生より

### 青柳達也 「6年間を振り返って」

修士2年の青柳達也です。勝田マラソンも無事完走し、修士論文の執筆に追われる今、この文を書くにあたって、ようやく引退を実感しています。

寄稿にあたって、歴代の先輩方の書いた部誌を再度読み返し、言葉の一つ一つが心に響いています。陸上部に入ってから、学部での4年間と、大学院での2年間を振り返ってみると、記録は学部では毎年少しずつですが伸ばす事ができました。記録が低迷した時もありましたが、関カレ標準を4年次で切る事ができ、国立のピットに立つことができました。大学院に入ってから、自己ベストを狙ってはいたものの、実際はいかに学部の時の力を取り戻すかに終止してしまい、結局自己ベストを出すという目標は達成できませんでした。しかし、日々の密度は大学院の時のほうが濃かったと思います。棒高跳が好きだから、という理由で、大学でも陸上を続ける決意をしました。自己ベストを出すために、何が必要で、どんな練習をすればいいか、ひたすら考えていろいろ試して実行していく日々の積み重ねは、きっとこれからも役に立っていくのだと思います。競技以外にも、組織として運営を任せてもらえたことも良い経験になりました。特に、国公立22大学を主催できた事は、はじめは震災も重なって重荷に感じていたものの、無事成し遂げられた今では誇りに感じています。

最後になりましたが、6年間ご指導して頂いた上地先生、渡邊先生、小川コーチ、同期や先輩後輩の皆様、本当にありがとうございました。恵まれたメンバーと大学時代を過ごすことができ本当に良かったなと思います。4月からの勤務地は笠松の近くになるので、ちょくちょく顔を出せたらと思います。

理工学研究科/理学専攻物理系/跳躍

棒高跳・4m40 / 三段跳・12m87(+0.9)



### 栗原航介 「大学院での2年間を振り返って」

大学院に入学してからの2年間はあっという間に過ぎ、大学院での陸上競技生活も終わりを迎えました。大学院への進学が決まった時は、陸上競技を続けるか迷いましたが、今は続けてきて本当に良かったと思っています。

この2年間は特に充実しており、部活以外にもさまざまな経験ができ、多種多様な考えを持っている、たくさんの方々と出会いました。そこで私は、人の話を“聞く”ことと自分の意見を“話す”ことが大事だと感じました。ただ単に“聞く”“話す”ことは簡単です。幼稚園児でもできます。しかし、相手の言いたいことの本質を理解して聞いているのか、自分の意見を的確に話せているのかと問われると、なかなか難しく、経験を積まなければなりません。

茨城大学陸上競技部には、たくさんの方がいます。もちろん皆それぞれの考え・意見を持っています。そこで、やはり皆と話すことが大事だと思います。普段の他愛のない話はもちろんですが、時には真剣に、先輩後輩関係なく、意見をぶつけ合ってもいいのではないのでしょうか。また、院生として、威厳のない私ですが、何かしら陸上競技部の役に立ちたく、たくさんの方々と話してきました。その会話の中で、何かしらの影響を与えられていれば幸いです。私は皆と話すことでたくさんの方々の刺激ももらっていました。ありがとうございます。

そんな私ですが、4月から社会人の仲間入りをします。私の就職する業界は繁忙期には家に帰れないと聞いています。先々不安ですが、この6年間の経験を活かし、何とか乗り切りたいと思います。そして、時間を見つけては運動し、体型を維持しながら、練習や大会には足を運びたいと思っています。

最後になりますが、6年間お世話になった上地先生、渡邊先生、小川コーチ、OBOGの方々をはじめ、私の陸上人生に関わった全ての方々に感謝申し上げます。そして、茨城大学陸上競技部の益々の発展、活躍を心より願っています。

理工学研究科 / 都市システム工学専攻 / 跳躍

走高跳・1m70 / 走幅跳・5m95 / 三段跳・12m60



## 大貫綾子「4年間を振り返って」

私は高校生の頃、陸上は辛いから、やめよう。そう思い陸上部には入りませんでした。そんな私が4年前、大学生になって選択した部活は陸上競技部でした。案の定、陸上部の練習はほとんどが辛いと思うような練習でした。しかし、時が経つのに従って、練習の内容や意味を考えて練習を行うことや、今まで気づかないような体の動かし方を知っていくこと、仲間と競い合うこと、いろいろな所楽しさを感じていくようになりました。スタッフとして運営にも関わらせていただき、いろいろな経験をさせていただきましたが、自分に足りないところがどんどん見えてきました。4年間を経て、失敗は自分の人生を豊かにしてくれるよき相棒だと思えるようになりました。大学生の今でしか、ここでしか学べないことに出会い、学ぶことができたと思えます。それはこの陸上競技部に所属していたからこそだと思っています。考え方は本当に人生や生き方を変えたいと思います。私は来年度から新たな地で勉強を続けます。場所は違いますが、茨城大学陸上部の活躍を期待しつつ、私も皆さんに負けないよう、ここで学んだことを軸に、成長し続けたいと思っています。



沢山のことを教えていただき、温かく支えてくれた、先生方、同期の皆、先輩・後輩、OB・OGの皆様に本当に感謝しています。ありがとうございました。

教育学部/保健体育/中長距離

800m・2分24秒51/1500m・4分54秒61/3000m・10分32秒21/5000m・18分46秒

## 酒井くるみ「4年間を終えて」

今まで先輩方が「あつという間に終わってしまうよ。」と言うのを聞いてきましたが、本当にあつという間の4年間だったと思います。茨城大学陸上競技部というこの場所で、たくさんの人に出会い、たくさんの経験を積みました。私にとっては、いろんな思い出と気持ちが詰まった大切な場所です。入部してきた時、新しい環境でなにもわからず未熟だった私を近くでたくさん指導してくれたのは先輩方でした。陸上部で出会った先輩方は、私の人生の中でとても影響力の強い存在であると思います。陸上に真摯に取り組む姿や、自分を見つめる姿勢を先輩方から学びました。一人ひとりに気を配り、時には厳しく叱りながら、明るくチームを盛り上げてくれました。チームをぐいっと引っ張るその背中に憧れ、今でも先輩方は私の目標です。4年間を終えた現在も、先輩方には遠く及ばず自分の未熟さを痛感する日々ですが、いつか必ず先輩方のように周囲の人を支えられるような人間になりたいです。もう一つ陸上生活を思い返して思うことは、たくさん成長させてもらったことへの感謝の気持ちです。陸上は個人種目です。自分のレースの結果がどうなるかはすべて自分次第。自分に言い訳をしたり、目をそらしたりすればそれ以上記録は出ません。そのため、自分にまっすぐ向き合うことが必要になります。私は、4年間を終えて自分の弱い部分にも目を向けることができるようになったと思います。今まで自分に自信が持てないのは弱点だと思っていましたが、実は自分の弱い部分を見なかったことにして、言い訳してきたから自信が持てないのだと気づくことができました。このことに気づくまで、上地先生や渡辺先生に多くのご指導いただき、陸上部のチームメイトからもたくさんのことを学びました。そのほかにも、3年次で運営に携わることで、社会勉強から人間関係までたくさん学びました。いろんな形で自分を成長させてくれた陸上部に、とても感謝しています。この経験はこれからさらに自分を成長させるための頼もしい土台になると思います。



いいことも嫌なこともありました。大好きなハードルが嫌いになったことも、部活をやめたいと思ったこともありました。しかし、ここまで茨城大学陸上競技部で陸上を続けてくることができて本当によかったと思っています。なにより素敵な仲間たちと息ぴったり陸上できて、とても、とても楽しかったです。陸上部の選手として走れたことを、誇りに思います。引退した今では、毎日当たり前のように練習に行き、大会に向けてつらい練習に励み、チームメイトと切磋琢磨した日々が恋しくてたまりません。私の大好きな陸上、大好きなハードル、大好きな仲間たち。そのおかげで、今の私があります。私の陸上を支えてくれたすべての人に感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございました。これからも、茨城大学陸上競技部のさらなる活躍を心から願っています。

教育学部/環境/短距離

100mH・15秒27/400mH・62秒60



## 萩野谷安己帆

この4年間で振り返ると、楽しかったこと、嬉しかったこと、苦しかったこと、本当にたくさんのことが思い出されます。入部当初、人見知りでマネージャーの先輩としか話せなかったこと、選手の方の記録が伸びると自分も嬉しくなっていたこと、理想のマネージャー像が分からなくてたくさん悩んだこと、本当に多くの経験を経て、今はここにいるのだと感じています。そして、今の私がいるのは、他ならぬ茨城大学陸上競技部の皆さんのお陰です。どんな時も私を導き、ご指導していただいた先生方はじめ、マネージャーというものを教えていただいた素敵な先輩方、いつも元気をくれた後輩達、一番身近で私を支え、一緒に成長してきた同期達、こんなにも素敵な方々と出会い、同じ時間を共有できたことは、何にも変えがたい、素晴らしいものでした。

たくさんの出会いと、笑顔と、時々涙もありましたが、至らない点多かった私を、マネージャーとして受け入れていただいた皆さんに感謝し、また、皆さんのことを、マネージャーとしてサポートできたことを、誇りに思います。これからは、新天地での生活になり、新たな一歩を踏み出しますが、茨城大学陸上競技部のOGとして、恥ない行動をしていきたいです。

人文学部/社会科学/マネージャー



## 星耕平

この部誌を書いていると、いよいよ陸上競技部での活動も終わりを迎えようとしているのだと改めて実感しています。良くも悪くも、あっというまな4年間でした。

4年間で振り返ると、やはり引退の際に話したことに尽きます。現状に満足し、いつの間にか向上心を失っていたのだと思います。自律というテーマを掲げて部の運営に携わっていた私が自律できていなかった。後悔先に立たずとは言いますが、振り返るたびに申し訳なさや情けなさ、後悔と自責の念に苛まれます。しかしながら、この4年間の部活動は私にとって有意義なものだったと胸をはって言うことができます。運営や日々の練習、人とのかわりを通して、様々なことを、実感を伴って学ぶことができました。なにか困難に直面した時に試行錯誤してきた経験は、何事にも代えがたいものになっています。そしてなにより、皆さんと出会い、皆さんと共に活動してきた4年間の記憶は私にとって大きな財産です。

最後になりますが、上地先生、渡邊先生、先輩方、後輩たち、そして同期のみんな、お世話になりました。皆さんのおかげで4年間陸上競技を続けることができました。本当にありがとうございました。岡山からみなさんのご活躍をお祈りしています。

人文学部/社会科学/短距離

110H・14秒88(+1.8)/400H・54秒11/100m・11秒51(-1.4)



## 本圖理彦 「長い道のりの終着」

中・高・大と学生時代の青春を陸上競技に捧げてきた10年間でした。来年度も部に所属していききたいとは考えていますが、これまでに培った心持ちとは異なる想いで陸上競技と向き合っていくつもりですので、卒業は節目です。

この10年を振り返ってみて、思い通りの結果になっていなくても、結果を含めた過程を細部までよく見れば、意義や面白さを見出すことができると気づきました。私の陸上人生を例えるなら、都会を目指して汽車に乗ったけれど、降り立ったのは田舎だったという感じです。特に大学時代は、入学という乗り換えをしてから3ヶ月後の脱線事故のあと、行き先が変わった汽車から乗り換えを何度も試みたが一向に止まらない。仕方なく見ていた外の景色が、徐々に綺麗になっていくことに気づき、「当初と予定は違うけどこれはこれで面白いじゃないか。」と思い、景色をよりよく見るための努力をしながら終点まで乗り続けたという感じです。わかりにくい例えですみません……。最後の4年間は極寒の冬と酷暑の夏の風景が多かった気もしますが、綺麗だったことには変わりありません。私の場合、夏と冬が長いおかげで、僅かに春や秋が顔を覗かせた時は一際美しく思えました。これらの「美」に気づけたのは、都会へと真っ直ぐ向かっていた6年間の積み重ねと衝撃的な怪我、そして日々の生活を通じて出会えたあらゆる人たちのおかげです。陸上人生で得た最大なのは、今の想いであると私は心から思っています。

卒業生という立場から最近思うのは、「茨城大学陸上競技部で頑張っていたら何かが宿るのか?と思うくらい尊敬できる素晴らしい先輩方が大勢いらっしやるなあ。」ということです。在学中にお世話になった方、代は重なっていないけれども時々いらっしやる方々を見てもそう思いますし、過去の部誌を読んでも伝わってきます。私なんかはその域には到底たどり着いていないと思いますが、後輩諸君らは偉大なる先輩方に敬意を忘れず、背中を追いかけていって欲しいと去りゆく身になって、しみじみと思うようになりました。ここまで陸上競技を通じてお世話になった皆さん、切磋琢磨した好敵手たち、そして家族に心から感謝しています。今まで本当にありがとうございました。

私がこの田舎の駅から一体どこに行くのか、暖かく見守っててください。

工学部/電電/短距離

110H・15秒33 (+0.8) /400H・58秒38



## 谷貝脩平

4年間という長いようで短い大学生活を振り返ってみると、一周350mの土のトラックが頭を離れることはありません。陸上競技部で過ごした時間は僕の大学生活のほぼ全てを占めていました。入部当初は、個性的で県内で名の知れた先輩方と練習ができる喜びを感じる反面、練習についていけない不安でした。実際に、1年次から3年次までは怪我を繰り返して練習が積めずに記録が低迷し、非常に苦しかったです。まだまだこれからと思う反面、このままの記録が出ずに引退してしまうのではないかと不安もありました。4年次は、けがなく練習を順調に積み、自己ベストが出たので非常にうれしかったです。

競技面以外でも、様々な経験ができました。その中でも主将として運営を任されたことは自分にとって大きな経験となりました。自分の段取り力に不甲斐なさを感じる日々でありましたが、良い経験でした。

改めて振り返ると、決して楽しいことばかりではありませんでしたが、この4年間で私は多少なりとも成長できたと感じました。来年からは茨城を離れますが、度々戻りたいと思います。今後OBとして皆さんの活躍を期待しています。最後になりましたが、4年間ご指導賜りました先生方、先輩方を初めとする皆さんに感謝を申し上げます。

人文学部/社会科学科/短距離

100m・11秒20 (+1.5) /200m・22秒45 (+2.8) /400m・51秒49



## 安田萌

勝田マラソンを終えて卒業論文もひと段落つき、「部誌の原稿まだですか。」とせかさされて(部誌係の私が一番おそくてごめんなさい)、急いで4年間を振り返ると本当にあっという間にたくさんの思い出が思い浮かびますが、4年間が本当にあっという間だったかというとなんかそんなことはありません。

この4年間は良いことも辛いこともさまざまな出来事がありました。良いときはもちろん、自分が自分自身を振り返り、周りの人も振り返すような辛いときでも、私の周りには守ってくれる人がいて、一緒に歩いてくれる人がたくさんいました。特に主務として運営に携わった1年間は周りの人に支えられていると強く感じた1年間でした。共に4年間を過ごした同期は、それぞれが自分の考えを持ち、時にはぶつかり合って、いつでもなかよしこよしでやって来たわけではありませんが、今振り返れば仲間とともに一步一步進んできた4年間だったように思います。

来年度から大学院生として競技を続けます。おそらく競技者として陸上競技にかかわる最後の2年になると思います。今まで以上に様々なことに目を向けて、充実した時間をすごしたいです。

最後になりましたが、上地先生、渡邊先生、先輩方、同期、後輩、本当にありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

教育学部/保健体育/投擲

やり投・42m96/円盤投・29m97/砲丸投・8m62/ハンマー投・23m37



## VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ

### 遠藤園子

皆様お久しぶりです。今私は、宮城県の高校で講師をしています。自宅から職場までの距離が長く、毎日往復 80km の運転をして元気に通っています。早いもので、卒業してから 1 年がたってしまいました。去年の今頃は、論文を書き上げてしっかり卒業できるのかと日々ひやひやしていましたが、気がつけば 1 年。早いですね。

大学で過ごした 6 年間の中には、つらかったことも楽しかったこともありましたが、それらすべてが大事な宝物で今でも私の心の支えになっています。非常に充実していた学校生活でしたが、今になって後悔していることがあります。それは「学生時代にもっと時間を有効に使えば良かった」ということです。今職場では陸上を教える機会もありますし、専門的な教科を教えることもありますが自分の知識不足・経験不足を痛感することもしばしばです。「跳躍のことはわかるけど、長距離のことはあまり分からない」、「やりのことはわかるけど、円盤のことはわからない」。同じ陸上競技のことでわからないことに直面して悔しい気持ちになりました。時間のあった学生の時にもっと、自分の専門以外へも目を向けて視野を広めるべきだったと実感しました。とはいっても時間を戻すことはできないので、今後しっかりと努力し知識をつけていきたいと思います。悔しい想いをしつつも、毎日いろんな経験をして楽しく過ごしています。私の武器は跳躍力とポジティブ思考だと思うので、つらい時や悲しいときも茨大ですごした日々を思いを馳せ、3 歩で跳び、前向きにひたむきに頑張っていきたいと思います。2015 年のシーズンが茨大にとって素晴らしいシーズンとなりますように！ 宮城の地から応援しております。

教育学研究科/保健体育/跳躍

三段跳・12m80 / 走幅跳・5m50 / やり投・39m81



### 松村俊

ご無沙汰しております。卒業して早一年が過ぎようとしています。現在私は名古屋の地で、社会人の洗礼を受けながら仕事に追われる日々を送っています。

私が社会に出て仕事をして大事だと感じたことは、質問するときに自分の考えを伝えることです。自分がどこまで理解しているかを伝えれば、相手の方からの的確なアドバイスがもらえることが多くなり、また自分の理解もより深まります。

環境も変わり、慣れない仕事で残業も多いですが、そこは陸上競技で鍛えた体力で何とか乗り切っています。中々顔を出すことができませんが、名古屋の地から皆様のご活躍をお祈り申し上げます。私も頑張ります。

理工学研究科/電気電子工学/短距離

100m・11 秒 51 / 200m・23 秒 46



## 石津美阿里

みなさん、こんにちは。昨年度教育学部養護教諭養成課程を卒業した石津美阿里です。卒業後は、茨城大学大学院教育学研究科養護教育専攻に進学し、現在大学院1年生です。大学院に進学し、研究に励みながらも、陸上部の練習を遠くから眺めて、私も頑張ろう！と思って、学生生活を送っています。学部生の時とはガラッと環境が変わり、特に授業では、発表や少人数での議論がほとんどで、問題意識をもって課題を発見したり、考える習慣をもつよう意識したり、わからないことはすぐに調べたりと、失敗や反省ばかりの毎日を送っています。しかし、同じ夢や目標を持つ仲間が近くにいることで、助け合ったり刺激し合ったりすることができるので、とても良い環境に恵まれています。何より卒業後も変わらず連絡を取りあい、試合の応援等で再会する同期や、陸上を通して出会った先輩方や後輩のみなさんの活躍は、今も私にとって心の支えとなっています。後輩のみなさんには、これから先もつながりを持ち続ける仲間との日々や多くの方々との出会いを大切に、学生生活を精一杯送ってほしいと思います。私もみなさんに負けないよう、個人的にはやったことないことをやってみるという目標を今年掲げたので、色々な経験をし、残りの学生生活を有意義なものにしていきたいと思っています。今後もみなさんの活躍を期待しています。応援に行った際には、ぜひ声をかけていただけると嬉しいです。

教育学部/養護教諭/マネージャー



## 加藤俊介

みなさん、こんにちは。卒業してからもうじき1年経つんだと、時間の流れの速さに驚いています。私は現在県内の金融機関に勤めています。1年が経った今でも学ぶことばかりで、大変ですが充実した毎日を送っているのかなと思っています。その中で、社会人になって実感したのは「陸上競技に打ち込める時間があることは本当に幸せなこと」だということです。多くの卒業した先輩方が仰っていたこの言葉を今まさに私が実感しています。みなさんの中にも卒業するとそう感じる方がいると思います。その時に自分はやりきったと思えるように、今しかない時間を大切に過ごして欲しいなと思います。私も市民ランナーとして負けないように頑張るので、また競技場や大会でお会いできればと思っています。



最後になりましたが、茨城大学陸上競技部の活躍を祈っています。怪我のないように頑張ってください。

教育学部/スポーツ/中長距離

800m・1分59秒81 / 1500m・4分01秒14 / 5000m・15分35秒54

## 木村世奈

みなさんお元気ですか？

私は卒業してから早くも1年が経とうとしています。社会人になり間もないころは、慣れない生活に戸惑い、不安な事が多くありました。今も新しい事を学んでいる最中ですが、少しずつ仕事のリズムをつかめてきました。

陸上部で過ごした日々を振り返ると、本当にいろいろな事がありました。楽しみや苦しみ、どれも仲間がいたからこそ経験できた事です。部員のみなさんにも、さまざまな経験をしていくなかで、仲間と力を合わせ、これからも素敵な思い出をたくさん作ってほしいです。

今後も、みなさんの活躍を見たり聞いたり出来る日々を楽しみにしています。目標を達成できるよう、ずっとずっと応援しています。

教育/心理/中長距離

5000m・17分42秒89 / 10000m・37分02秒57



## 黒澤夏楠

皆さんこんにちは。昨年度卒業した黒澤夏楠(長距離ブロック)です。現在は地元の日立製作所で実業団として競技を続けています。とても良いチームメイトやスタッフに恵まれ、職場の方々の応援も熱く、充実した環境で毎日取り組んでいることに、感謝の気持ちでいっぱいです。笠松やKスタでの練習時や県内の大会の時は、いつも皆に会えるかな〜？と内心とても楽しみにしています！笑そして、見かけたときに「かなさーん」と笑顔で近寄って来てくれることがとても嬉しいです！また、お会いしたときに、皆の成長を見てパワーをもらったり、逆に自分も成長した姿を見せたい！と思ったり、それがとても活力となっています♪笑チームメイトやスタッフは、茨大みたいに挨拶がしっかりできて、熱さが伝わるチームが羨ましいと言っていて、本当に自慢の後輩達です！

社会人1年目は、良いことだけでなく悔しい思いもたくさんしました。でも、そんな時、いつも思い出すのは、この場所です。大学時代の仲間や経験が、苦しい時の原動力や励みとなっています。現在、大学生の皆さんも、かけがえのない仲間に出逢い、嬉しいこと、苦しいこと、たくさんの経験を分かち合い、乗り越えてきたと思います。その何気ない日常が、今後の大きな糧となる日が必ず来ます。だから、今の仲間を大切に、失敗を恐れず、どんどんチャレンジしてほしいなと思います。時には、うまく行かないこともあるでしょう。でも、今のうちに、こういう経験が出来ることは、むしろラッキーだと思うくらいの気持ちで乗り越えてもらいたいです。

これからも、最高の仲間と最高の思い出をつくってください。皆さんの活躍を楽しみにしています！お会いしたときは、たくさん話しかけてくれたら嬉しいです♪笑 何事にも楽しむことを忘れず、これからも共に頑張りましょう！

教育学部/健康/中長距離

1500m・4分41秒41 / 5000m・16分35秒50 / 10000m・33分35秒75



## 齋藤圭介

皆さん、お久しぶりです！私が卒業してからもう1年が過ぎようとしているんですね。実感が湧きません。

私は現在、金融機関に勤めております。主に窓口立ち、お客様の資産運用のお手伝いをさせていただいております。覚える業務がたくさんあり、不慣れな事も多いですが、仕事をやりきったときや、お客様に喜んでいただいた時は非常にやりがいを感じています。また、この陸上競技部で学んだことが、自分の考え、行動の原点になっております。



さて、社会人としてまだまだ未熟者ですが、何かみなさんにお伝えするならば、茨城大学陸上競技部で活動できる時間を有効に活用してください。今は勉強やアルバイトと部活の両立が厳しく感じるかもしれませんが、社会人はより大変な環境が待っています。忙しいを言い訳にせず、今しかできないことにぜひ取り組んでほしいと思います。また、活動する中で、関係ないと思える事がらでも、後で生きてきますので、積極的に挑戦してください。

茨城大学陸上競技部のさらなる発展を期待しています。

人文学部/社会/中長距離

1500m・4分19秒54 / 5000m・16分21秒45

## 城石俊朗

皆さんお久しぶりです。中間発表も無難におえ、修論発表にむけ大変そうな青柳さんの傍、だいたいネットサーフィンしている城石です。

卒業後は茨城大学院にそのまま進学し、陸上部から離れましたが、健康管理でランニングを始めました。偶然にも担当教授が市民ランナーでしたので大会ごとに真剣に戦っています。戦績は勝マラで負けたので一勝一敗です。勝マラといえば皆さん、応援ありがとうございました。最近一人で走っていたので応援される懐かしい感じと散々迷惑かけた私を応援してくれる陸上部の懐の深さを感じました。



さて話は変わりますが「過程」について皆さんはどのように考えますか？私は学部生のゼミにも参加していて、先日その学部生の卒研発表に出席したのですが、その時の発表の出来と日頃のゼミのスタンスを見て「過程を自分で評価している人間には結果が出ない」と感じました。できない生徒ほど「頑張ってやった」といい、あたかも「結果」と「過程」が同程度の評価対象かのような発言をしていました。しかし「過程」は「結果」を出すための手段にすぎません。もちろん「過程」を大事にする機会も多いので一概には言えませんが、少なくとも私でいう研究や、皆さんの「いい記録を出したい」という場面では「過程の評価」は考えない方がよいと思います。※不正していいとは言っていないですよ。

私は来年も茨城大学にいたので来年も顔を出しに行くので宜しくお願いします。

PS 柴の方が圧倒的に変わったので見てない人は一回見に来た方がいいですよ。

理学部/物理/中長距離

800m・2分05秒50

## 肥田 埜里枝

最近3日に1回はランニングシューズを履いている肥田埜です。時々身体が乳酸を欲するので超ハイペースでjogをするのですが、市民ランナーをどんどん交わしていくことに最近快感を覚えました。(笑)私は、卒業後は茨城を離れ、東京で生活をしています。大好きな陸上競技に携わる仕事ができ嬉しく思うと同時に、この道を作ってくださった陸上部の皆さんに改めて感謝しております。新しい環境になり、当初はめまぐるしく過ぎていく毎日についていくことで精一杯でした。目標も見つけられず、何のために仕事をしているのかだんだんとわからなくなってしまいました。そんな時、大会に足を運んでキラキラと輝く皆さんにパワーをもらい、また明日から頑張ろう！という気持ちになっていました。たとえ時間がかかっても完全に叶えられなくても目標に向かって一步一步近づいていく姿は不思議と輝いて見えるものなんですね！



大学生活はたったの4年間です。そのうち陸上競技に注げる時間はどれくらいでしょうか。強い意志をもって目標に向かうために、目標には期限があることを忘れずに日々の練習に取り組んでみてください。

来シーズンも茨大陸上部に1つでも多くの感動と笑顔が届くよう、心から応援しています。茨大陸上部ファイト！！

教育学部/数学/短距離

400m・56秒04 / 200m・25秒07

## 宮岡 仁美

こんにちは。お久しぶりです。みなさんお元気ですか？私は今、ずっと憧れだった高校の保健室の先生として働いています。「ああっ、急に頭が・・・」とベッドに倒れ込む演技派な子や、「ねえ、ちょっと聞いてよー！」とお悩み中の子、「先生、お菓子あげます！」とニコニコ声をかけてくれる子。高校生との生活はとても刺激的で、毎日とても楽しいです。保健室の先生として頑張っていることの基盤は、茨城大陸上部での経験であると感じています。茨城大陸上部のマネージャーとして、土地先生、渡邊先生のご指導の下、みなさんと活動できて本当によかったと、いつも思っています。



働きはじめて大切だと思ったことのひとつ、それは、私たちの学年が苦手としていた「ハウレンソウ(報告・連絡・相談)」でした。「ハウレンソウ」と言っても、いいことばかりを伝えられる訳ではありません。時には自分が失敗したことについてなど、「こんな報告(連絡・相談)したら・・・」と伝えるのをためらってしまうようなことを伝えなければいけないときもあります。しかし、そうためらうときこそ、「ハウレンソウ」をすべきときなのではないかと感じます。大切なことは、もうすでに起こったことではなく、その起こったことをどのように今後につなげるか、ということです。組織の一員として、自分でしっかり考えて自分を成長させることも大切ですし、「ハウレンソウ」をして、相手にその方向性を一緒に考えてもらったり、確認してもらったりすることも、とても大切だと思います。そして、「ハウレンソウ」を受けてもらえる相手がいるというのは、とても心強くて、ありがたい環境なのだと思います。この他にも働いていて「これは大切な」と思うことはたくさんあるのですが、「ハウレンソウ」を含め、多くのことは「茨城大陸上部で経験したこと・感じたことあるな」と思うことです。つまり、皆さんの今経験していることは社会での経験に大きくつながっているのだと思います。皆さんが「今」を精一杯頑張れますように、楽しめますように、元気でいられますように。いつも応援しています。

教育学部/養護教諭/マネージャー



## 星野千恵

会いにくるアイドルを卒業して早1年…。なんて、まだこんな冗談を言っているのかと笑われてしまいそうですね。現在私は、元気に小学校教諭をしています。3学年の学級担任をしており、クラス30人のかわいい子どもたちと、てんやわんやの毎日を楽しんでいます。

先生として勤めて1年、嵐のように過ぎ去って行く毎日の中で、「できる」「できない」ではなくて、『やる』しかないのだと学びました。兎にも角にもやるしかない。やるしかないと言えば、冬合宿の砂浜エンドレスや5大のマイルリレーに勝マラ…。諦めが良いというのか、切り替えが早いというのか、やるしかない!!!の魔法の言葉で乗り切った修羅場は数知れず。茨大陸上部での数々の修羅場と共に培った根性(と、多少の性格の歪み)

が、実力もなければセンスもない私を支えています。もちろん私は何か特別なことを在学中にしていたわけではありません。偉大な先輩方が、ブロック長の経験が、たくさんの部員と関わることで、私を「人」として成長させました。陸上部は何とも贅沢な環境でしたね。さて、今の陸上部の環境はみなさんにどんな影響を与えているのでしょうか。今すぐにはなくても、いつか気づく時がくれまいなと思います。

さてさて、そんなこんなで働く素敵なお姉さんに向かって邁進中な私ですが、なんと!なわとび週間のおかげで三重跳びができるようになりました♪人間、まだまだ成長できるということですね。バリバリ成長期な現役選手のみなさんはこれからどんな成長を遂げるのでしょうか。茨大陸上部の活躍を期待しています。

教育/保健体育/投擲

ハンマー投・45m00 / 円盤投・38m66 / 砲丸投・9m32 / やり投・30m95



## 山口真未

みなさん、お久しぶり(?)です。今でも試合や練習で時々お会いします、H25年度卒業生の山口真未です。

筑波大学院に進学し、最近充実した日々を過ごしています。学びたかった分野の中に入り自分の無力さや知識の無さを露呈する毎日ですが、なんとか生きのびています。最近では、高校バスケット部のトレーニング指導をさせていただけることになりまして、現場での実践から色々と学んでいます。

時間が過ぎるのは本当にあっという間ですね。茨城大学で過ごした4年間が、つい昨日のことに思えます。3月に大学院を修了する先輩方、そして卒業する後輩達、おめでとうございます。そして、お疲れ様でした。皆さんとは部活動をはじめ、私生活でも沢山の思い出がありますね。カラオケに行ったり、海や山で遊んだり、飲み会で語ったりと、本当に有意義で楽しい時間でした。就職先や進学先でのご活躍を祈念しています。

部員の皆さん、時間は有限です。気づいたら今シーズンが始まり、終わり、今度は自分が部誌を書く番が来ます。そのときに、茨大陸上競技部でよかったなと心から思えるような時間を送ってほしいです。一回でも心が震えるような経験が出来たら、それは一生の財産になると思います。自分の「全力」を尽くしてみてください。

教育学部/健康/跳躍

七種・4934点 / 走高跳・1m63 / 走幅跳・5m90(+3.0), 5m81 / 100mH・14秒79



## 山屋 瑛美

こんにちは。私は現在、小学校4年の担任をしています。一年間を振り返ると、わからない事が多い中で、悩んだり、振り返ったりする暇がないぐらい、毎日が必死だったなと思います。よきスタッフや思いやりのある子供たちに恵まれて、楽しい学校生活を送らせて頂いています。

今年、学級で特に印象に残っているのが、大縄大会に向けての練習の事です。はじめは、結果が振るわずに落ち込んでいた子どもたちでしたが、「目標は、〇回!」「休み時間に全員で練習しよう。」

「跳ぶ順番はこうしたらいいんじゃないかな。」と、全員で目標に向かって知恵を出し合い、自分達が立てた目標を次々とクリアして、自信をつけていきました。その背景には、始めは連続で跳ぶことが出来なかった子が、「目標を達成したいから、頑張る。」と縄への恐怖心を克服していったことや回し手の子は腕が張りながらも、「みんなのために。」と連日縄を回していたこと、大会の前日までより回数を増やそうとひたむきに頑張る子どもたちの姿がありました。

私は、この大縄大会を通して「集団の力ってすごい!」と改めて実感しました。集団で取り組むことで、自分でも想像できない力が湧いてきたりするので。また、達成したときの喜びもひとしおです。

陸上部として活動しているみなさんには、きっと集団の力を感じることが多いのではないのでしょうか。陸上競技を通して、そんな経験が出来る、今この時を一生懸命に過ごしてほしいなと思います。

教育学部/社会/短距離

100m・13秒08 / 200m・27秒12 / 400m・63秒46



Ⅶ 記録集

茨大記録 【男子】

種目	氏名	記録	期日	大会名	会場
100m	杉崎 弘周	10.51(+1.9)	1998/9/11	日本インカレ	国立競技場
200m	伊藤 太一	21.14(0.0)	2011/9/11	日本インカレ	KKWING
400m	今村 明彦	48.06	1994/9/9	日本インカレ	国立競技場
800m	今井 英明	1.53.9	1990/4/7	学連競技会	筑波
1500m	秋山 陽祐	3.56.42	2007/9/15	関東新人	国立競技場
3000m	秋山 陽祐	8.52.10	2009/4/12	県記録会	笠松
5000m	秋山 陽祐	14.52.16	2009/9/21	国公立22大	千葉県総合
10000m	秋山 陽祐	30.35.03	2007/12/22	松戸記録会	松戸
110mH	星 耕平	14.88(+1.8)	2014/10/25	国公立24大	宇都宮
400mH	神尾 伸也	52.53	1994/8/23	関東選手権	笠松
3000mSC	岡崎 浩樹	9.07.37	2008/8/24	関東選手権	笠松
5000mW	小向 瑞樹	24.40.48	2009/8/24	国公立22大	千葉県総合
10000mW	小向 瑞樹	49.38.28	2010/5/16	関東インカレ	国立競技場
4×100mR	成石・杉崎・大久保・佐藤	40.75	1996/9/6	日本インカレ	国立競技場
4×200mR	浅井・佐藤・大久保・神尾	1.27.38	1995/5/28	リレー選手権	笠松
4×400mR	開・上杉・山本・和田	3.14.60	2008/5/25	関東インカレ	国立競技場
4×800mR	中村・飯塚・林・神尾	7.54.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×1500mR	滝沢・根本・千葉・金沢	16.38.08	1981/4/18	リレー選手権	笠松
スウェーデンR	浅井・成石・大久保・岡	1.57.44	1996/5/26	リレー選手権	笠松
走高跳	青木 博光	2m00	1985/9/8	関東選手権	小瀬
棒高跳	岡山 進也	4m90	2001/5/26	リレー選手権	笠松
走幅跳	佐藤 良雄	7m09	1958/7/19	茨城県選手権	土浦
三段跳	吉野 学	14m81(+1.6)	2005/5/13	関東インカレ	国立競技場
砲丸投	海老原大輔	15m02	2005/8/20	関東選手権	敷島
円盤投	ホアン・テ・ウエン	40m84	2010/8/7	千葉対校	笠松
ハンマー投	小林 朋寛	47m61	2013/8/3	千葉対校	笠松
やり投	渡邊 将司	66m94	2000/10/19	国公立21大	小瀬
十種競技	渡邊 将司	6676点	1999/7/17・18	栃木県選手権	宇都宮
5km	富井 一仁	16.18	2011/2/20	結城シルクカップ	結城
10km	千葉 雅昭	31.20	1981/2/11	勝田マラソン	ひたちなか
20km	渡辺 雄馬	1:03.29	2006/10/21	箱根駅伝予選会	昭和記念公園
30km	鈴木徳次郎	1:41.12	1973/2/17	青梅マラソン	青梅
ハーフマラソン	秋山 陽祐	1:09.27	2008/3/9	日本学生ハーフ	昭和記念公園
マラソン	秋山 陽祐	2:24.46	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか

茨大記録 【女子】

種目	氏名	記録(風速)	期日	大会名	会場
100m	鈴木 麻理	12.10(+0.8)	2010/10/24	北関東五大学	宇都宮
200m	鈴木 麻理	24.52(+0.1)	2010/10/24	北関東五大学	宇都宮
400m	肥田埜里枝	56.04	2013/8/10	N.S.S.U オープン	日体大
800m	石澤ゆかり	2.10.95	2010/9/26	国公立22大学	三ツ沢
1500m	野田 春香	4.33.51	2007/9/28	国公立22大学	緑が丘
3000m	石澤ゆかり	9.41.49	2010/11/20	日体大競技会	日体大
5000m	野田 春香	16.28.82	2008/7/13	ホクレンディスタンス	北海道
10000m	黒澤 夏楠	33.35.75	2013/11/23	10000m記録挑戦競技会	国立競技場
100mH	石川ちひろ	14.07(+1.5)	2006/6/10	日本インカレ	日産スタジアム
400mH	石川ちひろ	61.34	2005/9/18	国公立22大学	国立競技場
4×100mR	酒井・山口・鈴木(麻)・肥田埜	47.67	2012/7/5	茨城県選手権	小吹
4×200mR	黒川・大内・長谷川・呉	1.48.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×400mR	林田・鈴木(麻)・肥田埜・小島	3.49.50	2012/9/9	日本インカレ	国立競技場
4×800mR	深谷・飯嶋・小林・柴	9.42.31	1994/5/29	リレー選手権	笠松
スウェーデンR	黒川・呉・長谷川・柴	2.22.05	1994/5/29	リレー選手権	笠松
走高跳	森 あゆ美	1m73	2008/8/26	関東甲信越	熊谷
棒高跳	山内 裕香	3m52	2012/7/6	茨城県選手権	小吹
走幅跳	山口 真未	5m81(-1.3)	2013/8/10	N.S.S.U オープン	日体大
三段跳	遠藤 園子	12m80(+0.7)	2013/10/14	国公立23大学	町田
砲丸投	城所 舞	12m33	2011/8/16	千葉対校	千葉
円盤投	梅原 由香	45m84	1997/8/23	国体予選	笠松
ハンマー投	弓削真理子	51m33	2010/5/3	日体大競技会	日体大
やり投	古田 映布	43m64	2014/10/26	国公立24大	宇都宮
七種競技	山口 真未	4934点	2013/9/6・7	日本インカレ	国立競技場
10km	野田 春香	34.16	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか
ハーフマラソン	黒澤 夏楠	1:14.06	2013/3/17	まつえレディース	島根
フルマラソン	野田 春香	2:42.19	2009/1/25	勝田マラソン	ひたちなか

# 2014 年度ランキング

【男子】

【女子】

種目	順位	氏名	記録
100m	1	伊藤 太一	10.65(-0.)
	2	沖崎 一也	10.80(+1.)
	3	伊藤林大郎	10.85(+0.)
200m	1	伊藤林大郎	21.90(+0.)
	2	伊藤 太一	21.91(+1.)
	3	宮本 秀斗	22.37(-0.)
400m	1	宮本 秀斗	49.38
	2	谷貝 脩平	51.49
	3	福田 智仁	51.92
800m	1	小澤晃太郎	1.56.86
	2	奥山 康太	1.58.14
	3	平塚 悠太	2.02.00
1500m	1	菊池 直人	4.07.54
	2	平塚 悠太	4.08.40
	3	小澤晃太郎	4.12.20
5000m	1	小野 隼太	15.04.02
	2	樋口 卓哉	15.38.42
	3	平塚 悠太	15.50.59
10000m	1	藤井 駿丞	35.04.73
110mH	1	星 耕平	14.88(+1.)
	2	本圖 理彦	15.70(-0.)
	3	村山 靖真	15.77(+1.)
400mH	1	川部 優太	58.42
	2	本圖 理彦	59.28
	3	木村 大介	60.21
3000mSC	1	小野 隼太	9.19.63
	2	山本 智晴	9.53.41
	3	菊池 直人	9.57.40
4×100mR	1	伊藤(林)・伊藤(太)・猿田・沖崎	41.06
	2	伊藤(林)・安井・宮本・伊藤(太)	41.60
	3	沖崎・伊藤(太)・伊藤(林)・安井	41.89
4×400mR	1	沖崎・伊藤(林)・谷貝・福田	3.22.23
	2	沖崎・宮本・伊藤(林)・安井	3.23.23
	3	伊藤(林)・安井・谷貝・宮本	3.24.58
走高跳	1	木村 大介	1m65
		栗原 航介	1m65
棒高跳	1	堀尾 佳希	4m40
		沖崎 一也	4m40
	3	青柳 達也	4m30
走幅跳	1	沖崎 一也	6m92(-1.1)
	2	近藤 顕二	6m29(+1.5)
	3	木村 大介	5m91(+0.6)
三段跳	1	沖崎 一也	13m83(-0.)
	2	木村 大介	12m65(+1.)
	3	栗原 航介	12m55(0.0)
砲丸投	1	富岡 泰資	9m17
	2	柴 俊博	8m72
	3	荒井 啓輔	8m65
円盤投	1	近藤 顕二	32m18
	2	柴 俊博	31m17
	3	中浦 凌馬	30m86
ハンマー投	1	富岡 泰資	41m05
	2	近藤 顕二	24m28
	3	柴 俊博	17m62
やり投	1	近藤 顕二	58m90
	2	中浦 凌馬	53m96
	3	荒井 啓輔	48m98
十種競技	1	木村 大介	5014点
フルマラソン	1	本図 理彦	5:08.44
	2	栗原 航介	5:57.07
	3	青柳 達也	5:57.07

種目	順位	氏名	記録
100m	1	加藤 佑実	12.42(+1.5)
	2	後藤 晴菜	13.55(-0.5)
200m	1	加藤 佑実	25.46(+0.9)
	2	大塚 美穂	27.31(+0.2)
	3	鈴木 杏奈	27.38(-4.0)
400m	1	鈴木 杏奈	59.25
	2	堅野 里桜	65.54
	3	荒井 芽衣	65.82
800m	1	堅野 里桜	2.25.17
	2	荒井 芽衣	2.27.35
	3	高野 美幸	2.28.98
1500m	1	高野 美幸	4.48.09
	2	荒井 芽衣	4.53.08
	3	廣瀬 未来	4.55.94
3000m	1	高野 美幸	10.36.43
	2	荒井 芽衣	10.40.13
	3	大貫 綾子	10.46.13
5000m	1	高野 美幸	17.57.31
	2	荒井 芽衣	18.38.00
	3	大貫 綾子	18.46.32
100mH	1	酒井くるみ	15.30(-0.2)
	2	大塚 美穂	15.72(+0.5)
	3	蛭名 史織	15.73(0.0)
400mH	1	酒井くるみ	62.60
	2	蛭名 史織	67.51
4×100mR	1	酒井・加藤・大塚・蛭名	49.38
	2	酒井・加藤・後藤・大塚	49.75
	3	酒井・加藤・鈴木・後藤	49.84
4×400mR	1	加藤・酒井・後藤・蛭名	3.58.48
	2	加藤・鈴木・後藤・酒井	3.58.82
	3	酒井・加藤・後藤・堅野	4.01.88
走高跳	1	大塚 美穂	1m53
	2	宮本 蘭子	1m50
棒高跳	1	永瀬麻梨凜	1m50
	1	山内 裕香	3m50
走幅跳	1	山内 裕香	4m96(+0.7)
	2	後藤 晴菜	4m91(+2.0)
	3	大塚 美穂	4m65(-1.0)
三段跳	1	山内 裕香	4m65(-1.0)
	2	宮本 蘭子	9m92(0.0)
砲丸投	1	永瀬麻梨凜	9m74(+0.5)
	1	大塚 美穂	10m15
	2	友常 結衣	9m66
円盤投	1	友常 結衣	8m94
	2	古田 映布	30m57
	3	古田 映布	30m57
ハンマー投	1	安田 萌	29m97
	2	友常 結衣	23m41
	3	友常 結衣	23m41
やり投	1	安田 萌	23m37
	2	友常 結衣	22m97
	3	友常 結衣	22m97
七種競技	1	古田 映布	43m64
	2	安田 萌	42m96
	3	友常 結衣	39m02
フルマラソン	1	大塚 美穂	4331点
	1	大貫 綾子	5:50.33
	2	酒井くるみ	5:53.51

### 対校戦順位

順位	男子			女子		
	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド
第63回関東甲信越大学体育大会（男子総合7位・女子総合5位）						
1	筑波大	埼玉大	筑波大	都留文大	都留文大	宇都宮大
2	埼玉大	筑波大	埼玉大	筑波大	埼玉大	横浜国立大
3	千葉大	千葉大	都留文大	横浜国立大	筑波大	筑波大
第65回北関東五大学対校陸上競技大会（男子総合2位・女子総合1位）						
1	埼玉大	埼玉大	埼玉大	茨城大	茨城大	茨城大
2	茨城大	茨城大	茨城大	埼玉大	埼玉大	宇都宮大
3	群馬大	群馬大	群馬大	宇都宮大	宇都宮大	埼玉大
第29回国公立24大学対校陸上競技大会（男子総合10位・女子総合6位）						
1	東京学芸大	東京学芸大	東京学芸大	東京学芸大	東京学芸大	福島大
2	横浜国立大	静岡大	横浜国立大	福島大	都留文大	東京学芸大
3	埼玉大	埼玉大	首都大	都留文大	福島大	横浜国立大
第69回三浜駅伝競走大会（一般男子の部【1部】1位・一般女子の部1位）						
1	茨城大A			茨城大		
2	我流AC-A			筑波大同好会		
3	那須塩原			常磐なでしこ		
第15回荒川河川敷対校駅伝競走大会（男子総合8位・女子総合1位）						
1	東京工業大			茨城大		
2	埼玉大			首都大		
3	東京大			文教大		
第12回国公立24大学対校駅伝競走大会（男子総合14位・女子総合3位）						
1	東京工業大			東京学芸大		
2	信州大			都留文大学		
3	埼玉大			茨城大		

Ⅷ. 部員名簿

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
院2	青柳 達也	佐原/千葉	跳躍	理工/物理
院2	栗原 航介	石橋/栃木	跳躍	理工/都市シス
院1	伊藤 太一	桜ノ牧/茨城	短距離	教育/保健体育
院1	川部 優太	桜ノ牧/茨城	短距離	工/都市シス
院1	柴 俊博	下妻一/茨城	投擲	教育/理科
4年	大貫 綾子	日立一/茨城	中長距離	教育/保健体育
4年	金田 祐輔	日立一/茨城	中長距離	工/都市シス
4年	酒井くるみ	土浦日大/茨城	短距離	教育/環境
4年	萩野谷安己帆	佐和/茨城	マネージャー	人文/社会
4年	星 耕平	会津/福島	短距離	人文/社会
4年	本岡 理彦	新発田/新潟	短距離	工/電気電子
4年	谷貝 脩平	緑岡/茨城	短距離	人文/社会
4年	安田 萌	竜ヶ崎一/茨城	投擲	教育/保健体育
3年	荒井 啓輔	竜ヶ崎一/茨城	投擲	教育/保健体育
3年	伊藤林大郎	山形東/山形	短距離	教育/保健体育
3年	沖崎 一也	埼玉栄/埼玉	跳躍	工/都市シス
3年	奥山 康太	山形南/山形	中長距離	理/地球環境
3年	加藤 佑実	茨城リサ/茨城	短距離	教育/健康
3年	近藤 顕二	長生/千葉	投擲	工/マテ工
3年	佐々木一樹	葵陵/茨城	中長距離	工/生体分子
3年	猿田 康陽	太田一/茨城	短距離	工/マテ工
3年	杉浦ちはる	豊島学院/東京	短距離	教育/健康
3年	永瀬麻梨凜	並木/茨城	中長距離	教育/健康
3年	畠山 明子	富士/静岡	短距離	教育/養護教諭
3年	平沼 清一	鉾田一/茨城	短距離	教育/技術
3年	福田 智仁	太田一/茨城	短距離	人文/人コミ
3年	村山 靖真	竜ヶ崎一/茨城	短距離	人文/社会
3年	山内 裕香	聖徳/茨城	跳躍	教育/スポーツ
2年	荒井 芽衣	白河/福島	中長距離	教育/養護教諭
2年	内田 拓人	竹園/茨城	中長距離	教育/保健体育
2年	小澤晃太郎	日立一/茨城	中長距離	教育/保健体育
2年	堅野 里桜	佐竹/茨城	中長距離	教育/健康
2年	菊池 直人	水戸三/茨城	中長距離	教育/保健体育
2年	木村 大介	小瀬/茨城	跳躍	工/機械
2年	渋谷 弥生	青森/青森	中長距離	人文/人コミ
2年	鈴木 杏奈	矢板東/栃木	短距離	教育/保健体育
2年	高野 美幸	磐城/福島	中長距離	教育/健康
2年	友常 結衣	土浦湖北/茨城	投擲	教育/健康
2年	長谷川大輔	三条/新潟	中長距離	理/地球環境
2年	平塚 悠太	佐和/茨城	中長距離	工/都市シス

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
2年	藤井 駿丞	熊谷/埼玉	中長距離	人文/人コミ
2年	堀尾 佳希	須坂/長野	跳躍	工/都市シス
2年	宮本 秀斗	竜ヶ崎一/茨城	短距離	教育/保健体育
2年	宮本 蘭子	緑岡/茨城	跳躍	教育/保健体育
2年	安井 智哉	明星/東京	短距離	理/物理
2年	柳町 直	竜ヶ崎一/茨城	中長距離	教育/保健体育
2年	山本 智晴	宇和/愛媛	中長距離	理/数学
1年	石堀 芙袖	水戸一/茨城	マネージャー	教育/心理
1年	今野 泰吾	太田一/茨城	中長距離	教育/スポーツ
1年	蛭名 史織	常総学院/茨城	短距離	教育/健康
1年	大塚 美穂	宇都宮南/栃木	跳躍	教育/保健体育
1年	小野 隼太	盛岡第一/岩手	中長距離	理/物理
1年	後藤 晴菜	竜ヶ崎一/茨城	跳躍	教育/保健体育
1年	小林柊次郎	鹿沼/栃木	短距離	教育/スポーツ
1年	富岡 泰資	竹園/茨城	投擲	教育/スポーツ
1年	中浦 凌馬	水城/茨城	短距離	工/情報工
1年	廣瀬 未来	牛久/茨城	中長距離	教育/健康
1年	樋口 卓哉	甲府西/山梨	中長距離	工/メディア通信
1年	古田 映布	下妻一/茨城	投擲	教育/保健体育
1年	増田 梨沙	仙台二華/宮城	中長距離	人文/社会
1年	李家 弘樹	宇都宮東/栃木	短距離	工/機械
1年	吉松 美穂	日高/和歌山	短距離	教育/特別支援

#### 編集後記

今回も部誌を作成するにあたり、ご協力していただいた皆様にご感謝申し上げます。おかげさまで無事に部誌を発行することができました。2014年度を振り返りますと、関東学生陸上競技対校選手権大会において女子棒高跳で山内が5位に入賞しました。また、そのほかの大会でも中長距離ブロックを中心に多くの自己ベスト更新が見られました。しかし、日本学生陸上競技対校選手権大会への出場者を輩出することができないなど、我慢の年でもありました。2015年度は新しい方針として「Do it!」と設定し、チーム一丸となって前進できるように日々の練習に取り組んでいきたいと思っております。（文責：木村大介）

#### 茨城大学陸上競技部に関するお問い合わせ

陸上競技部に関するご意見・ご質問は、ホームページ内の掲示板、もしくは、顧問の上地までよろしくお問い合わせいたします。皆様からの情報をお待ちしております。

ホームページURL

<http://18.pro.tok2.com/~ibadaitandfclub/>

顧問 上地 勝

〒310 - 8512 水戸市文京2-1-1

茨城大学教育学部

Tel: 029-228-8477 (研究室)

Fax: 029-228-8478 (体育事務室)

e-mail: mueji@mx.ibaraki.ac.jp

#### 茨苑ACに関するお問い合わせ

〒310 - 0852 水戸市笠原町979-16

Tel: 029-244-1036

益子 雄行

茨城大学陸上競技部部誌「Perspiration」第9号

平成27年 3月24日発行

編集責任者

木村大介・藤井駿丞

発行者 茨城大学陸上競技部